


図 3.2-9 ウミアイサの確認位置図

【カンムリカイツブリ】

カンムリカイツブリの生態情報等を表 3.2-17 に、確認位置を図 3.2-10 示す。

表 3.2-17 特筆すべき種の生態および確認状況（カンムリカイツブリ）

| カンムリカイツブリ | カモ科 | 種の 保存法 | - | 環境省 RL | - | 三重県 RDB | - | 近畿 RDB | R3 (越冬) |
|---|---|-----------|---|-----------|---|------------|---|-----------|------------|
| 生態 | 日本には冬鳥としてほぼ全土に現れるが南西諸島には少ない。海岸の沿岸に現れ、比較的浅い岩礁にいることが多いが、砂浜に来ることもある。河口部や干潟の水路、潟湖などに入ることもあるが淡水湖に来ることはまれである。潜水し、水中を脚と翼を使って泳ぐ。主として魚食で、体長 8~10cm 程度の獲物をくわえとり、水面に浮かんで呑み込む。朝夕に活発に活動し、水中に 3~7m くらい潜水し、15~60 秒くらい潜る。 | | | | | | | | |
| 確認 状況 | 平成 26 年 9 月 26 日に 2 羽、平成 27 年 1 月 16 日に 1 羽をともに海上で採餌する個体を確認した。 | | | | | | | | |
|  | | | | | | | | | |
| <p>カンムリカイツブリ</p> <p>平成 27 年 1 月 16 日撮影</p> | | | | | | | | | |

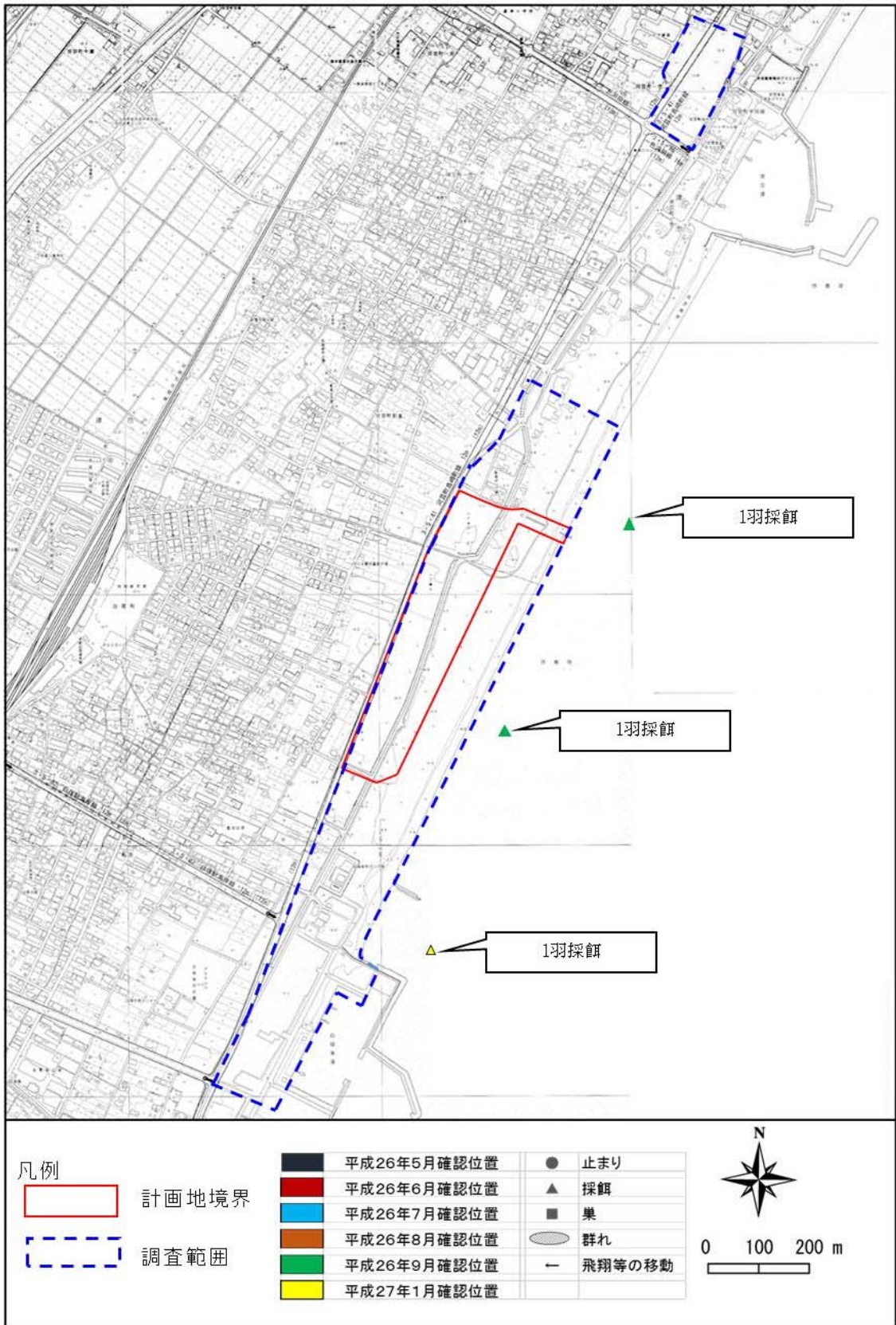


図 3.2-10 カンムリカイツブリの確認位置図

【ウミネコ】

ウミネコの生態情報等を表 3.2-18 に、確認位置を図 3.2-11 に示す。

表 3.2-18 特筆すべき種の生態および確認状況（ウミネコ）

| ウミネコ | カモ科 | 種の 保存法 | - | 環境省 RL | - | 三重県 RDB | - | 近畿 RDB | R4 要注 (繁殖) |
|----------|---|-----------|---|-----------|---|------------|---|-----------|---------------|
| 生態 | <p>日本では北海道・本州・九州の沿岸各地で局地的に繁殖し、冬はほぼ全土の海域に広がる。沿岸海域に多い。繁殖期には、断崖に囲まれた岩礁や草地にコロニーを形成する。各地の海岸線に沿って飛び、岩礁や漁港、港の防波堤、河口の中洲、砂浜等に下りてズラリと並んで休息している。海上や海岸で生きた魚を捕らえるほか、魚や甲殻類の死体も漁る。繁殖期は4～7月、一夫一妻で繁殖する。巣は地上に枯れ草を集めて浅い皿形につくる。1 巣卵数は1～4 個で、2～3 個が多い。</p> | | | | | | | | |
| 確認 状況 | <p>平成 26 年 6 月 24 日に白塚漁港の屋根の上で休息する 10 羽ほどの群れ、テトラポット上で休息する 7 羽の群れを、7 月 22 日に海上を飛翔する 2 羽、8 月 5 日に海上を飛翔する 3 羽、9 月 26 日に白塚港内の船上で休息する 10 羽、平成 27 年 1 月 16 日に海浜で休息する 3 羽を確認した。</p> | | | | | | | | |
| | <div style="text-align: center;">  <p>ウミネコ</p> <p>平成 26 年 9 月 26 日撮影</p> </div> | | | | | | | | |

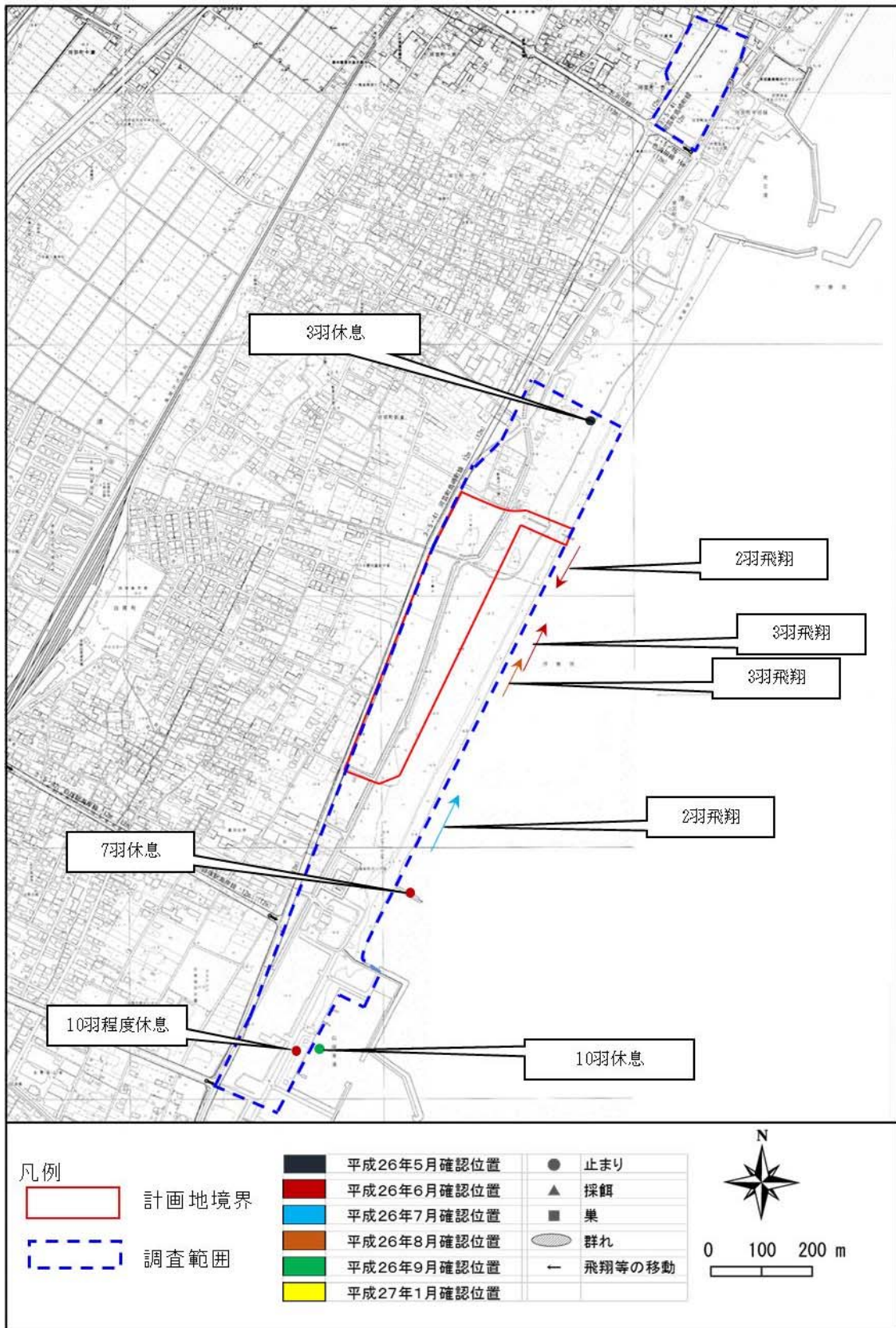


図 3.2-11 ウミネコの確認位置図

【ミサゴ】

ミサゴの生態情報等を表 3.2-19、確認位置を図 3.2-12 に示す。

表 3.2-19 特筆すべき種の生態および確認状況（ミサゴ）

| ミサゴ | タカ科 | 種の 保存法 | - | 環境省 RL | NT | 三重県 RDB | EN（繁殖） VU（越冬） | 近畿 RDB | R2 （繁殖） |
|---|---|-----------|---|-----------|----|------------|------------------|-----------|------------|
| 生態 | 日本では北海道から沖縄で少数が繁殖する留鳥で、魚を捕食して常食とする猛禽である。海岸、大きな川、湖などで採食し、人気のない海岸の岩の上や岩棚、水辺に近い大きな木の上に巣をつくる。ボラ、スズキ、トビウオ、イワシなどを食べる。 | | | | | | | | |
| 確認 状況 | 平成 26 年 8 月 5 日及び 9 月 26 日に調査域内の上空を飛翔するそれぞれ 1 羽を確認した | | | | | | | | |
|  | | | | | | | | | |
| <p>ミサゴ</p> <p>平成 26 年 8 月 5 日撮影</p> | | | | | | | | | |

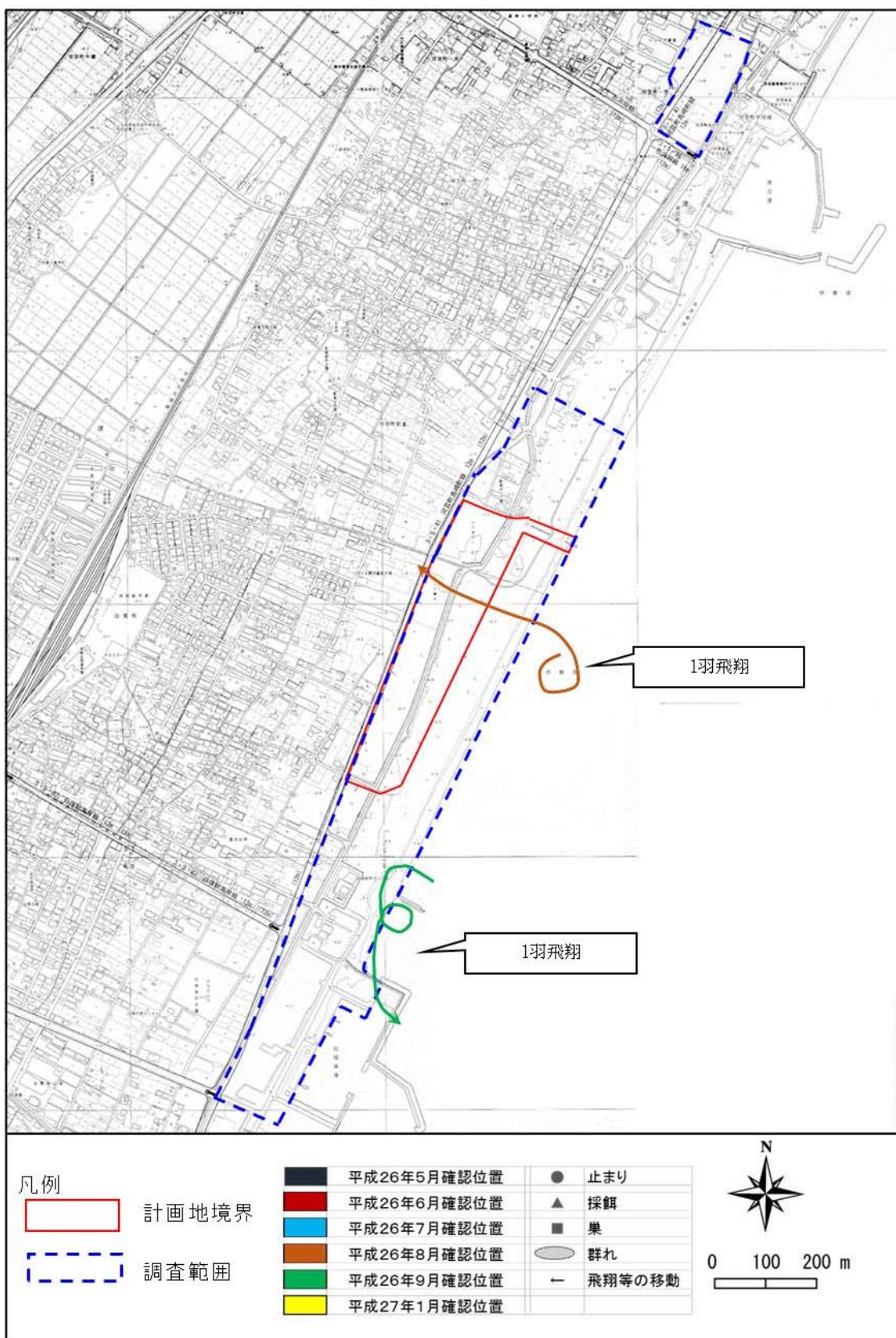



図 3.2-12 ミサゴの確認位置図

【カワセミ】

カワセミの生態情報等を表 3.2-20 に、確認位置を図 3.2-13 に示す。

表 3.2-20 特筆すべき種の生態および確認状況（カワセミ）

| カワセミ | カワセミ科 | 種の 保存法 | - | 環境省 RL | - | 三重県 RDB | - | 近畿 RDB | R3 (繁殖) |
|---|---|-----------|---|-----------|---|------------|---|-----------|------------|
| 生態 | <p>全国の山地から平地の池沼、川等にすみ、水の上の横枝、杭等にとまって水中の魚などを狙い、急降下して捕食する。 背中から尾にかけて鮮やかなコバルト色で美しい。 崖地に横穴を掘り、営巣する。</p> | | | | | | | | |
| 確認 状況 | <p>平成 27 年 1 月 16 日に耕作地脇の水路を飛翔する 1 羽を確認した。</p> | | | | | | | | |
|  | | | | | | | | | |
| <p>カワセミ</p> | | | | | | | | | |
| <p>平成 26 年 1 月 16 日撮影</p> | | | | | | | | | |

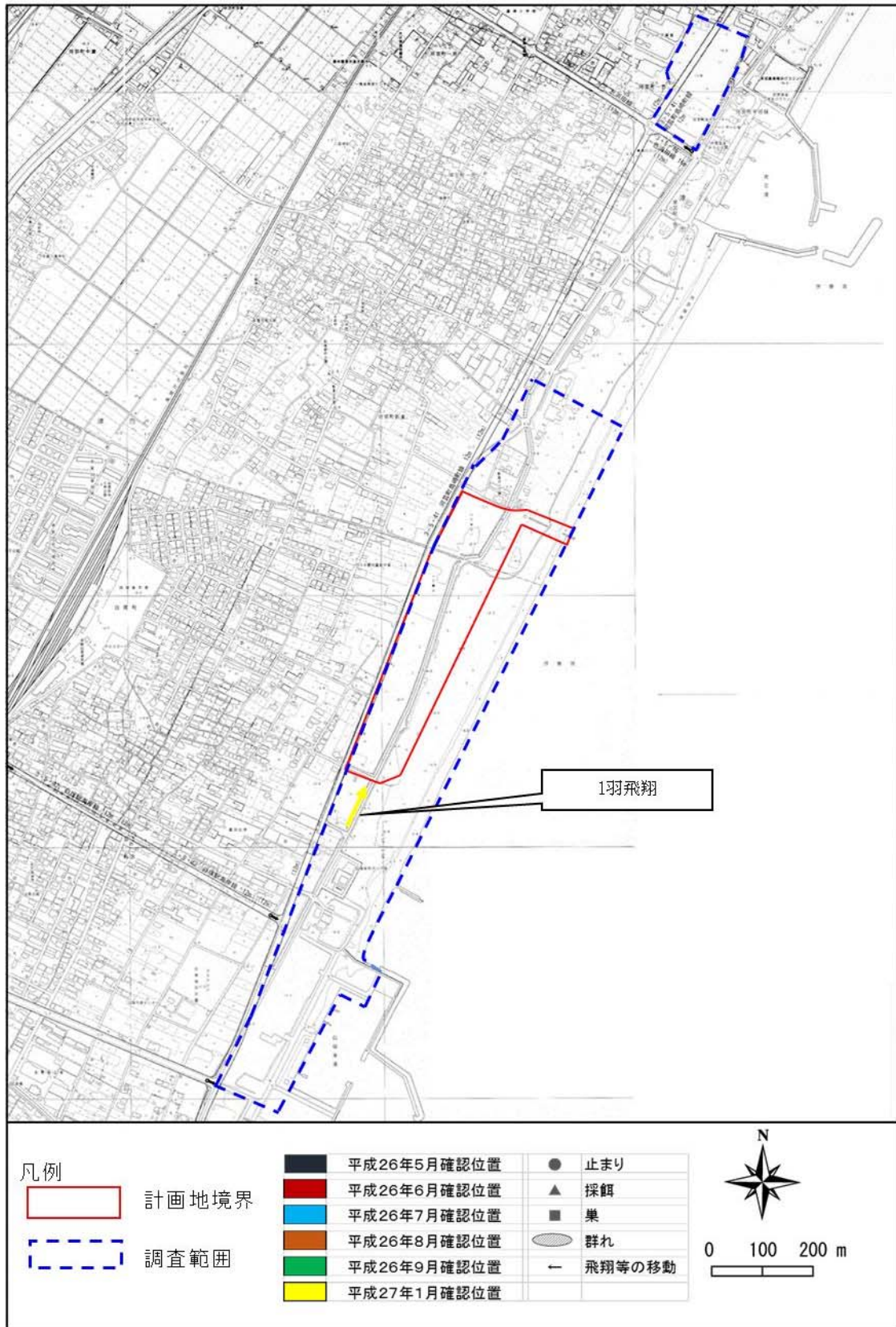


図 3.2-13 カワセミの確認位置図

【ハヤブサ】

ハヤブサの生態情報等を表 3.2-21 に、確認位置を図 3.2-14 に示す。

表 3.2-21 特筆すべき種の生態および確認状況（ハヤブサ）

| 種名 | 種名 | 種の保存法 | II | 環境省 RL | VU | 三重県 RDB | CR（繁殖） EN（越冬） | 近畿 RDB | R3 （繁殖） |
|---|---|-------|----|-----------|----|------------|------------------|-----------|------------|
| ハヤブサ | ハヤブサ科 | | | | | | | | |
| 生態 | 主に海岸の断崖で繁殖。冬季には、全国の海岸、河口、湖沼畔、原野等の開けた所にすみ、飛んでいる鳥を上空から急降下して襲い、捕食する。 | | | | | | | | |
| 確認状況 | 平成 26 年 6 月 24 日に海上を南から北へ飛翔する 1 羽を確認した。 | | | | | | | | |
|  | | | | | | | | | |
| ハヤブサ | | | | | | | | | |
| 平成 26 年 6 月 24 日撮影 | | | | | | | | | |

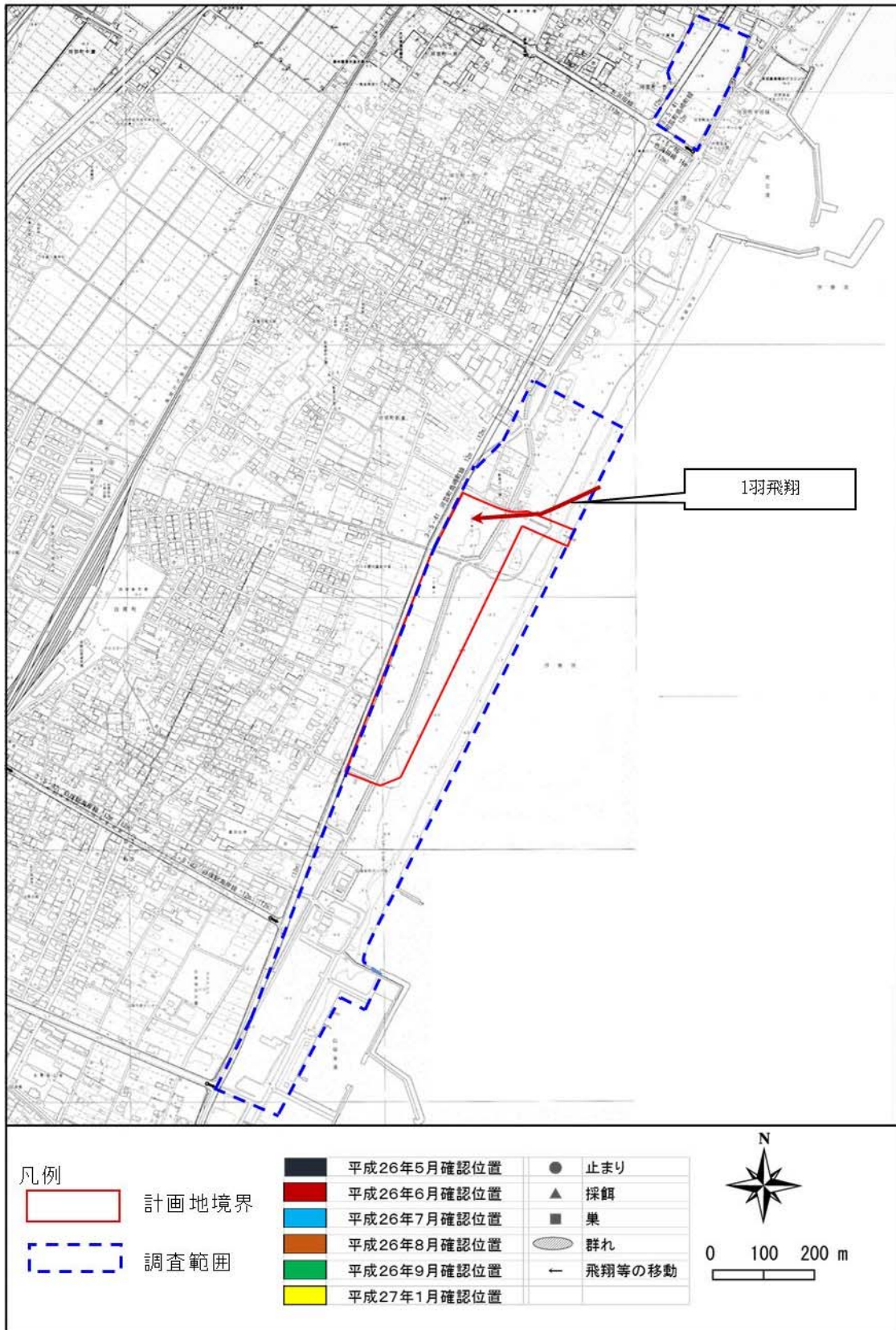


図 3.2-14 ハヤブサの確認位置図

【アオジ】

アオジの生態情報等を表 3.2-22 に、確認位置を図 3.2-15 に示す。

表 3.2-22 特筆すべき種の生態および確認状況（アオジ）

| アオジ | ホオジロ科 | 種の 保存法 | - | 環境省 RL | - | 三重県 RDB | - | 近畿 RDB | R3 (繁殖) |
|---|---|-----------|---|-----------|---|------------|---|-----------|------------|
| 生態 | 日本では本州の中部以北、北海道で繁殖する。越冬地では常緑広葉樹林の林縁、人家の生け垣、竹林、溝や河川の堤防沿いの藪、ヨシ原等で見られる。ほとんど地上で採食する。タデ科、イネ科等の種子、ズミ、イボタノキ等の果実、夏には昆虫の成虫・幼虫も食べる。 | | | | | | | | |
| 確認 状況 | 平成 27 年 1 月 16 日に草地で地鳴きする延べ 12 羽を確認した。 | | | | | | | | |
|  | | | | | | | | | |
| アオジ | | | | | | | | | |
| 平成 27 年 1 月 16 日撮影 | | | | | | | | | |

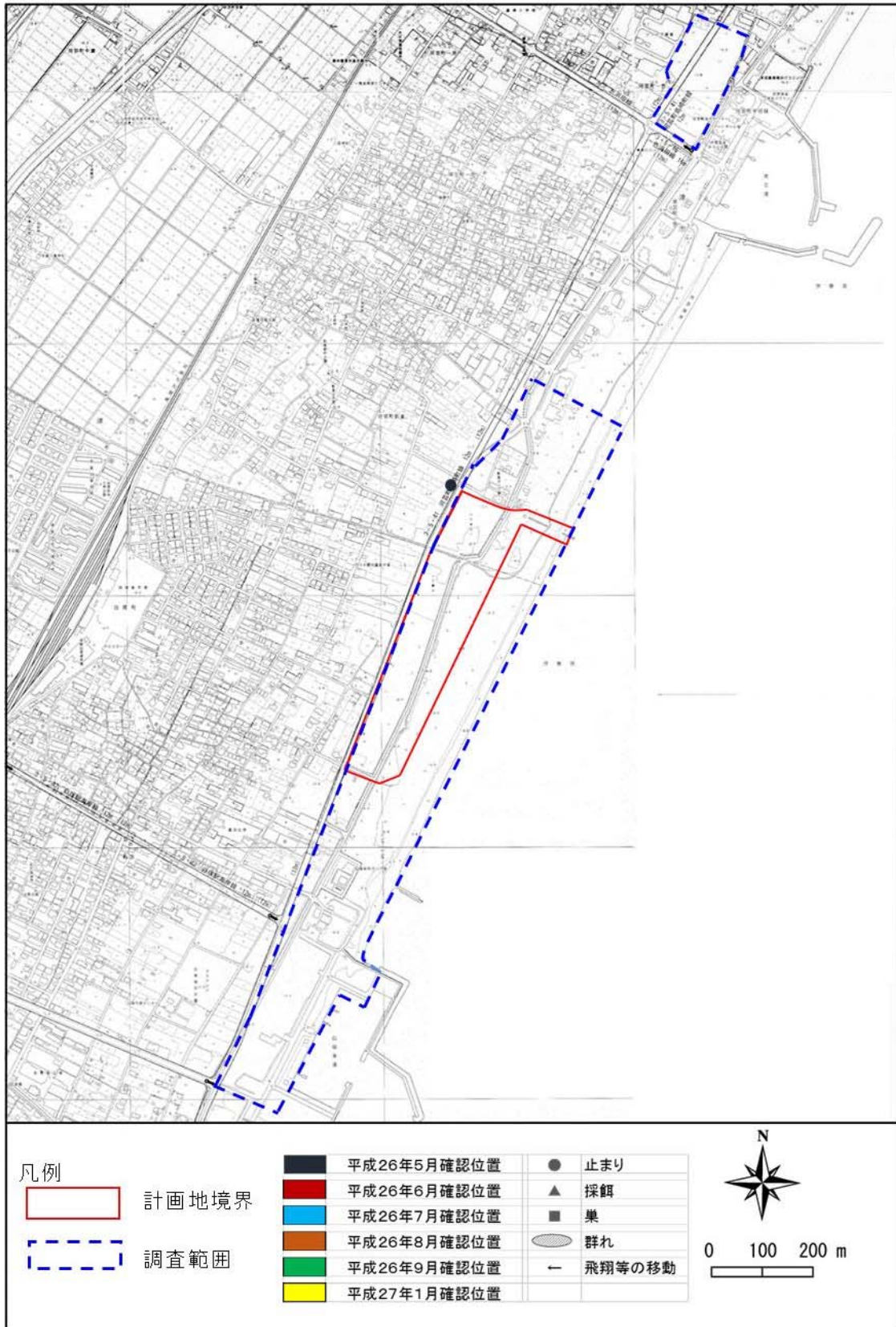


図 3.2-15 アオジの確認位置図

3.2.2 爬虫類（アカウミガメ）

(1) 調査対象種及び調査時期

調査対象種及び調査時期を、表 3.2-23 に示す。

表 3.2-23 調査対象種及び調査時期

| 種名 | 調査回数 | 調査時期 | 調査の目的 |
|--------|------|---|--------------------------|
| アカウミガメ | 14回 | 6月3日(火) 6月10日(火) 6月17日(火) 6月24日(火) 7月1日(火) 7月8日(火) 7月15日(火) 7月22日(火) 7月29日(火) 8月5日(火) 8月12日(火) 8月19日(火) 8月26日(火) 9月2日(火) | 現地踏査による上陸・産卵 状況等の把握 |
| | 任意 | 平成26年6月～9月 | 聞き取りによる上陸・産卵 情報の収集・把握 |

(2) 調査範囲

調査範囲は、図 3.2-16 に示した計画地及びその周辺の範囲（調査地域）とした。

(3) 調査方法

1) 上陸確認調査

調査範囲及びその周辺において、砂浜部分を中心に踏査し、砂浜に残されたアカウミガメの上陸跡や産卵跡の有無を調査した。なお、現地調査にあたっては、波打ち際に近いラインと遠いラインを往復し、上陸跡を見落とさないように注意を払った。

2) 聞き取り調査

三重県の海岸に上陸・産卵するアカウミガメや、伊勢湾に生息する小型の鯨類であるスナメリ調査を行っている三重大学ウミガメ・スナメリ調査・保全サークル「かめっぷり」に聞き取りを行い、アカウミガメの上陸・孵化状況について、情報を収集し把握した。

また、白塚海岸の2箇所に、アカウミガメの上陸や産卵等に関する情報提供を呼びかける看板を設置した。



写真 3.2-2 看板設置状況



写真 3.2-3 「かめっぷり」による産卵地保護状況
(阿漕浦海岸：2014年6月24日撮影)

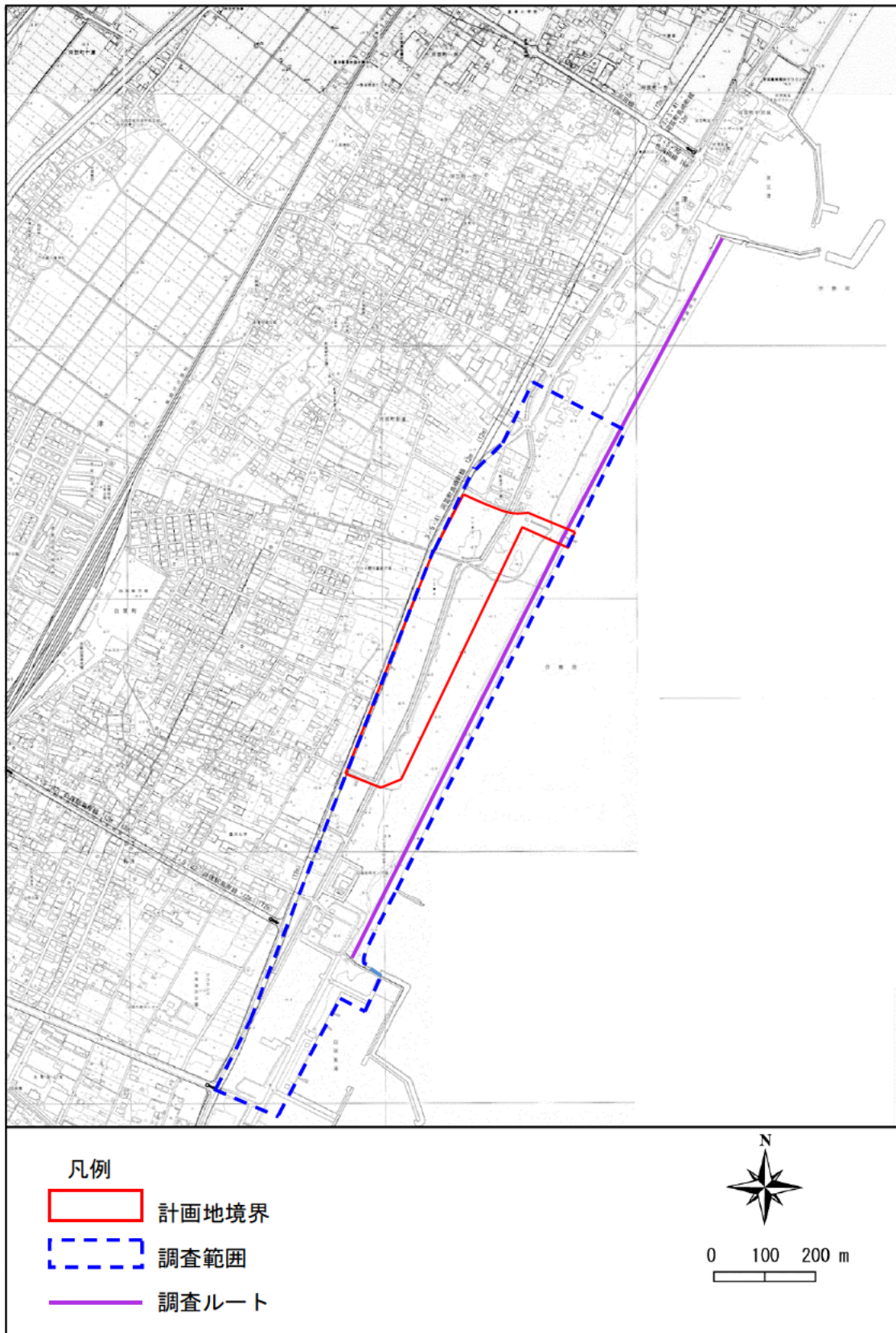


図 3.2-16 特筆すべき動物（アカウミガメ）調査地点位置図

(4) 調査結果

1) 上陸確認調査

6月～9月の計14回の上陸確認調査で、上陸は確認されなかった。

表 3.2-24 特筆すべき種の生態及び確認状況（アカウミガメ）

| アカウミガメ | ウミガメ科 | 種の 保存法 | II | 環境省 RL | EN | 三重県 RL | VU | 水産庁 RDB | 希少種 |
|--|-------|--|----|-----------|----|-----------|----|------------|-----|
| 生態 | | 甲長70～100cm、体重は100kgを超えるものもある。体背面は赤褐色で、腹面は淡い黄色。沿岸で雄と交尾をした雌は、春から夏にかけて夜間に砂浜へ上陸し、深さ約50cmの穴を掘って産卵する。1頭の雌は1シーズンに数回産卵し、1回に120個前後の卵を産む。最近の標識放流の結果、雌は2～3年おきに同じ地域の砂浜で産卵することが分かっている。砂浜に産み落とされた卵は約2ヶ月間で孵化し、子ガメは海流に乗って生活する。性成熟には30年以上かかると推定されている。 | | | | | | | |
| 確認 状況 | | 平成26年6月～9月の計14回の調査で確認されなかった。 | | | | | | | |
|  <p style="text-align: center;">上陸跡</p> | |  <p style="text-align: center;">かめっぷりによる調査</p> | | | | | | | |
|  <p style="text-align: center;">子ガメ死体</p> | |  <p style="text-align: center;">確認された卵</p> | | | | | | | |
| <p>「平成25年度国補中勢志登低率第2602-2分2001号中勢沿岸流域下水道(志登茂川処理区)志登茂川浄化センター環境事後調査業務委託報告書」より転載。</p> | | | | | | | | | |

表 3.2-25 上陸確認調査の結果

| 回数 | 調査期日 | 調査時間 | 確認状況 | 特記事項 |
|----|-------|-------------|------|------|
| 1 | 6月3日 | 7時30分～9時00分 | 確認なし | |
| 2 | 6月10日 | 7時30分～9時00分 | 確認なし | |
| 3 | 6月17日 | 8時00分～9時30分 | 確認なし | |
| 4 | 6月24日 | 8時00分～9時30分 | 確認なし | |
| 5 | 7月1日 | 8時00分～9時30分 | 確認なし | |
| 6 | 7月8日 | 8時00分～9時30分 | 確認なし | |
| 7 | 7月15日 | 8時00分～9時30分 | 確認なし | |
| 8 | 7月22日 | 8時00分～9時30分 | 確認なし | |
| 9 | 7月29日 | 8時00分～9時30分 | 確認なし | |
| 10 | 8月5日 | 8時00分～9時30分 | 確認なし | |
| 11 | 8月12日 | 8時00分～9時30分 | 確認なし | |
| 12 | 8月19日 | 8時00分～9時30分 | 確認なし | |
| 13 | 8月26日 | 8時00分～9時30分 | 確認なし | |
| 14 | 9月2日 | 8時00分～9時30分 | 確認なし | |

2) 聞き取り調査

平成 26 年度は、調査範囲である白塚海岸では上陸及び産卵の情報は得られなかった。

調査範囲外では、上陸については町屋海岸や阿漕浦海岸等で合計 19 件、産卵については町屋で 2 件、阿漕浦で 4 件、鼓ヶ浦で 4 件、吉崎で 1 件の合計 11 件の情報が得られた。

聞き取り調査結果を、表 3.2-26 に示す。

表 3.2-26 聞き取り調査結果

| No. | 確認日 | 産卵の有無 | 確認地点 | 確認状況 | 孵化率等 |
|-----|-------|-------|-------|-----------------|---------------|
| 1 | 6月2日 | - | 調査範囲外 | 町屋海岸において上陸を確認。 | - |
| 2 | 6月2日 | - | 調査範囲外 | 町屋海岸において上陸を確認。 | - |
| 3 | 6月17日 | - | 調査範囲外 | 御殿場海岸において上陸を確認。 | - |
| 4 | 6月18日 | ○ | 調査範囲外 | 阿漕浦海岸において産卵を確認。 | 85.4%(全卵数103) |
| 5 | 6月23日 | ○ | 調査範囲外 | 鼓ヶ浦海岸において産卵を確認。 | 11.5%(全卵数139) |
| 6 | 7月1日 | ○ | 調査範囲外 | 町屋海岸において産卵を確認。 | 台風で流出 |
| 7 | 7月2日 | - | 調査範囲外 | 鼓ヶ浦海岸において上陸を確認。 | - |
| 8 | 7月3日 | ○ | 調査範囲外 | 阿漕浦海岸において産卵を確認。 | 89.6%(全卵数115) |
| 9 | 7月8日 | ○ | 調査範囲外 | 鼓ヶ浦海岸において産卵を確認。 | 調査で未確認、獣害 |
| 10 | 7月15日 | - | 調査範囲外 | 阿漕浦海岸において上陸を確認。 | - |
| 11 | 7月16日 | ○ | 調査範囲外 | 阿漕浦海岸において産卵を確認。 | 82.1%(全卵数123) |
| 12 | 7月17日 | ○ | 調査範囲外 | 鼓ヶ浦海岸において産卵を確認。 | 台風で流出後、獣害 |
| 13 | 7月20日 | ○ | 調査範囲外 | 鼓ヶ浦海岸において産卵を確認。 | 96.4%(全卵数140) |
| 14 | 7月20日 | - | 調査範囲外 | 町屋海岸において上陸を確認。 | - |
| 15 | 7月21日 | - | 調査範囲外 | 芦原海岸において上陸を確認。 | - |
| 16 | 7月27日 | ○ | 調査範囲外 | 吉崎海岸において産卵を確認。 | 0.0%(全卵数127) |
| 17 | 7月28日 | ○ | 調査範囲外 | 阿漕浦海岸において産卵を確認。 | 66.7%(全卵数93) |
| 18 | 8月1日 | ○ | 調査範囲外 | 町屋海岸において産卵を確認。 | 83.7%(全卵数123) |
| 19 | 8月18日 | - | 調査範囲外 | 鼓ヶ浦海岸において上陸を確認。 | - |

3.2.3 昆虫類

(1) 調査対象種及び調査時期

昆虫類の調査対象種及び調査時期を、表 3.2-27 に示す。

表 3.2-27 昆虫類調査対象種及び調査時期

| 種名 | 調査回数 | 調査時期 | 調査の目的 |
|---------------|------|--|------------------|
| カワラハンミョウ (成虫) | 1 回 | 事前踏査： 平成 26 年 9 月 2 日 (火) 現地調査： 平成 26 年 9 月 9 日 (火) | 生息状況、 生息範囲の把握 |
| カワラハンミョウ (幼虫) | 1 回 | 平成 26 年 9 月 30 日、10 月 1 日 | |
| ヤマトバツタ | 1 回 | 事前踏査： 平成 26 年 9 月 2 日 (火) 現地調査： 平成 26 年 9 月 9 日 (火) | |
| エサキアメンボ | 1 回 | 平成 26 年 8 月 19 日 (火) | |

(2) 調査範囲

調査範囲は、カワラハンミョウ及びヤマトバツタについては、図 3.2-17 及び図 3.2-18 に示した計画地及びその周辺の範囲（調査地域）とした。

エサキアメンボについては、図 3.2-19 に示す調査範囲（水域）を対象とした。

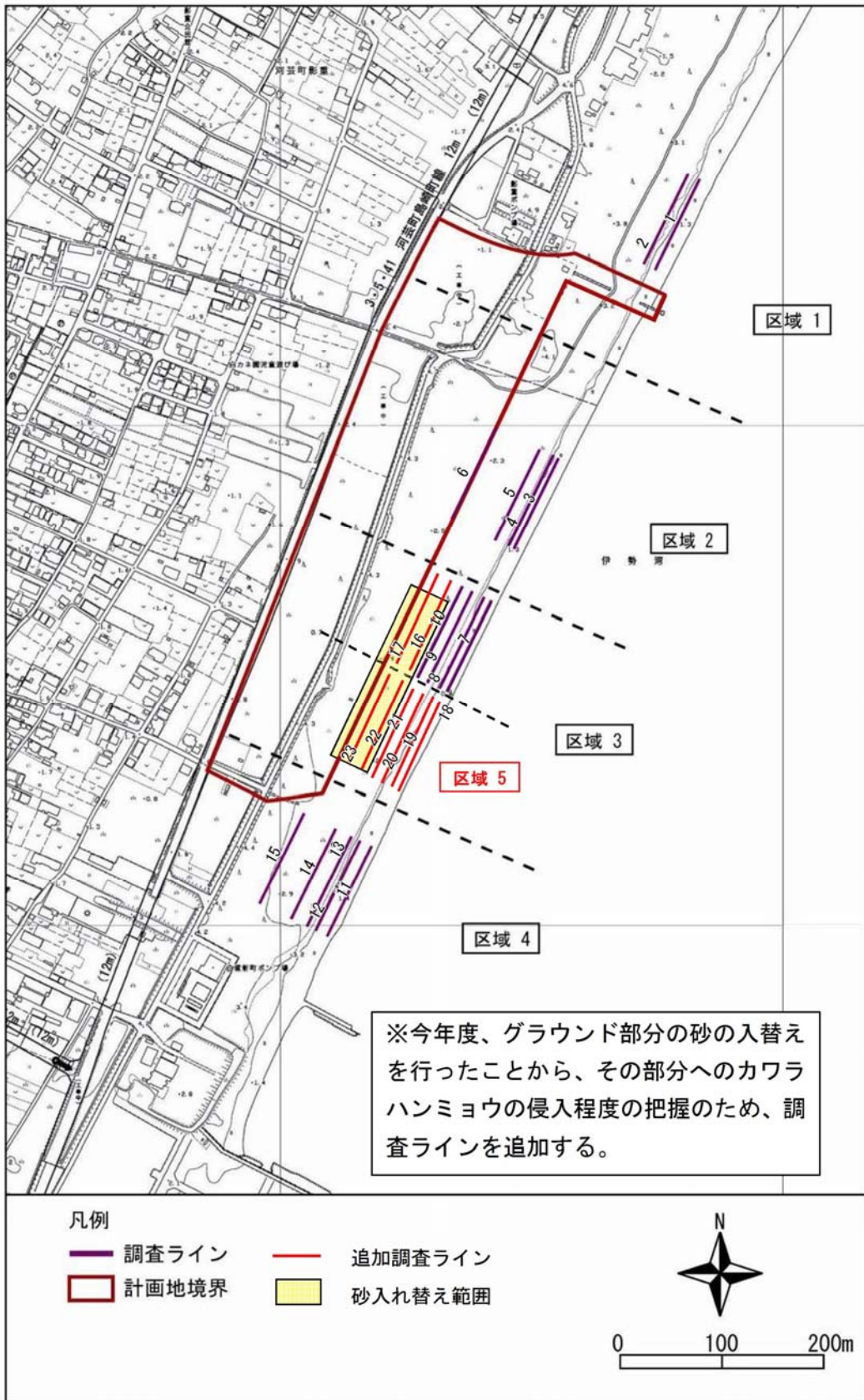


図 3.2-17 特筆すべき動物（カワラハンミョウ(成虫)・ヤマトバツタ）調査地点位置図